

補強工事分析（費用・実施率・意識調査） （平成17年1月17日～平成18年11月30日/木耐協診断実施分）

平成17年1月17日から平成18年11月30日までに、木耐協で実施した耐震診断3,562件の耐震診断結果を分析したものです。また、これら住宅は耐震補強工事の追跡調査を行っている住宅であり、工事の有無や工事の内容・金額について把握できている建物です。また、対象物件は耐震補強工事の費用だけでなく、付帯するリフォーム工事代金も含んでおります。

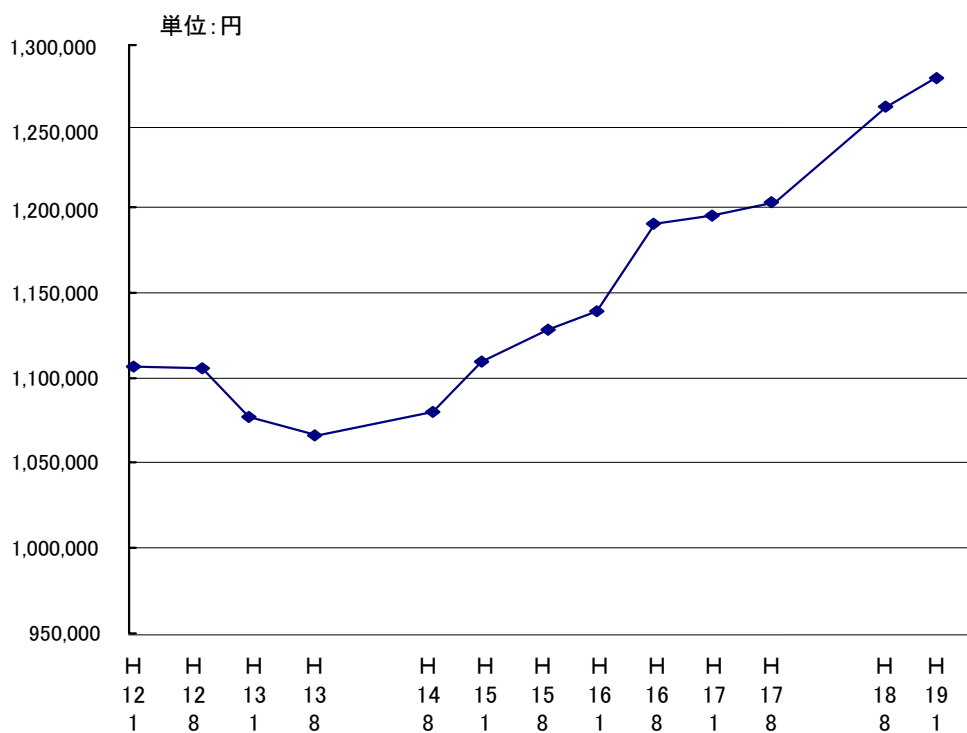
■ 対象物件 診断結果

旧診断（精密診断）		診断全体		補強工事实施		補強工事实施率
1.5 以上	安全です	258	7.24%	55	5.71%	21.32%
1.0 以上 1.5 未満	一応安全です	673	18.89%	146	15.15%	21.69%
0.7 以上 1.0 未満	やや危険です	797	22.38%	226	23.44%	28.36%
0.7 未満	倒壊又は大破壊の危険あり	1834	51.49%	537	55.71%	29.28%
総数		3562		964		27.06%

■ 耐震補強工事 平均施工単価推移

平成12年 1月発表	1,106,139
平成12年 8月発表	1,105,229
平成13年 1月発表	1,077,311
平成13年 8月発表	1,066,005
平成14年 8月発表	1,079,636
平成15年 1月発表	1,109,669
平成15年 8月発表	1,127,665
平成16年 1月発表	1,139,044
平成16年 8月発表	1,190,824
平成17年 1月発表	1,194,600
平成17年 8月発表	1,203,237
平成18年 8月発表	1,267,736
平成19年 1月発表	1,280,881

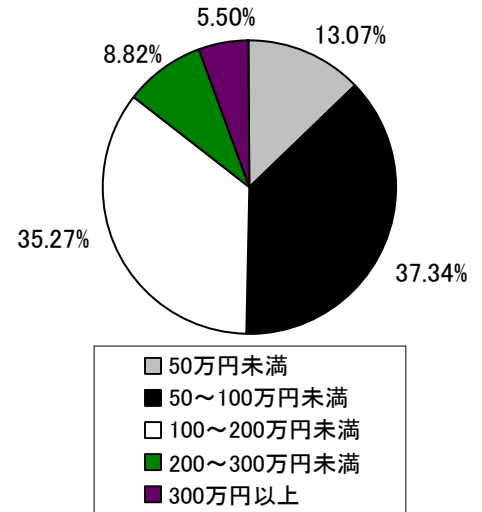
単位：円



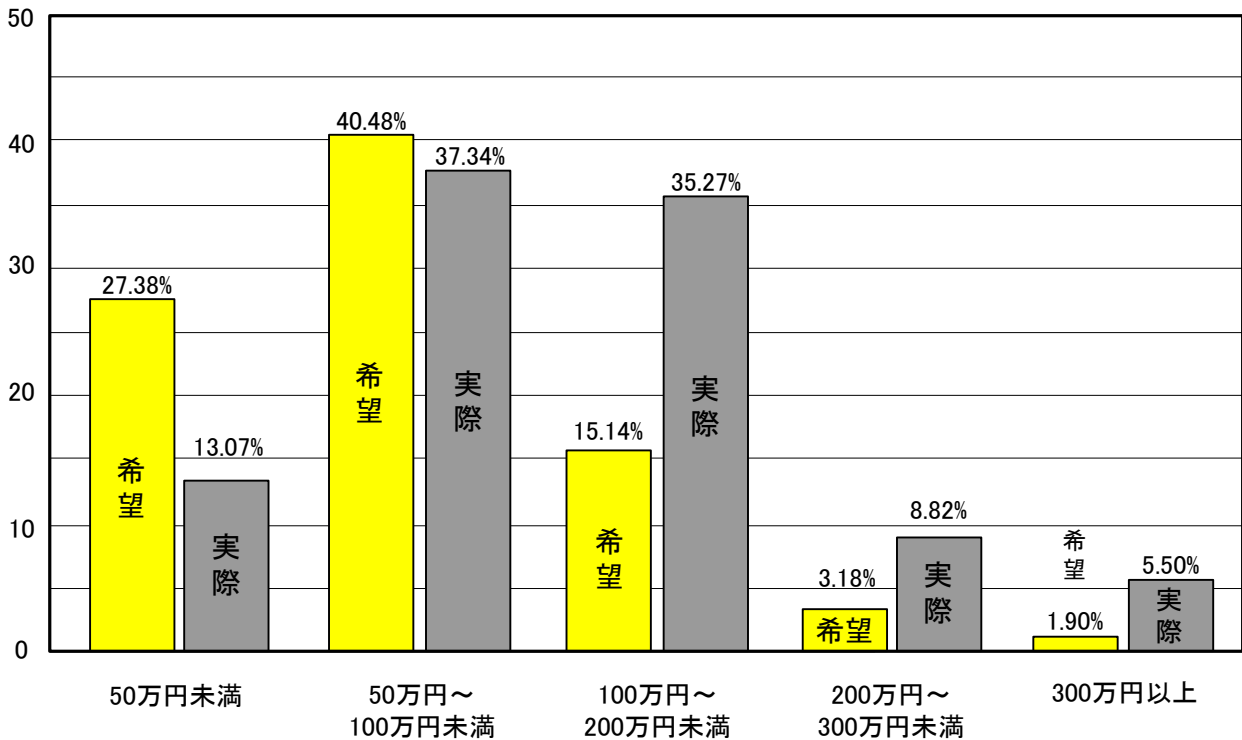
■ 耐震補強工事費用分析

50万円未満	126	13.07%
50～100万円未満	360	37.34%
100～200万円未満	340	35.27%
200～300万円未満	85	8.82%
300万円以上	53	5.50%
	964	

● 平均施工単価 128万881円



■ 耐震補強工事費用の希望と実際



■ リフォームと合わせて耐震補強を進めることが必須

調査結果の発表を始めてから上昇を続けている平均施工単価ですが、今回も1,280,881円と前回に比べて上昇しています。また、後述のアンケートによる耐震補強にかけられる予算と、追跡調査による実際の耐震補強費用の差を見ると、希望予算では「～100万円未満」が67.86%を占める一方で、実際の費用では「50万円～200万円未満」が72.61%を占めており、まだ希望と実際の間には差がある事がわかります。

耐震補強工事費用の約半分は、補強箇所を解体した後の復旧にかかります。その為、費用を抑えて耐震補強を行う為には、『リフォーム時に合わせて耐震診断・耐震補強を行う』事が最も有効と考えられます。